

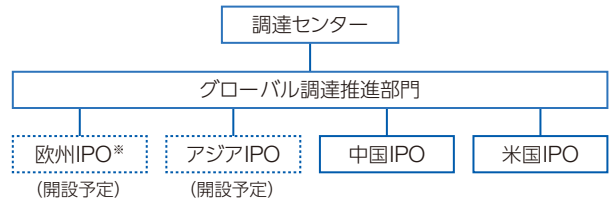
調達

収益力の向上やリスク軽減を図るため、グローバルに調達体制を構築し、製品に使用する部材や間接材コストなどの抑制に努めています。また、社会的責任に配慮した取引先様とのパートナーシップ構築により、調達活動を推進しています。

調達方針

- ・グローバル調達の拡大
- ・開発購買の推進による原価低減
- ・事務用品などすべての間接材コストの抑制
- ・CSR調達の推進

グローバル調達体制



※ International Procurement Office. 各国の新規優良調達先を発掘するとともに、富士電機グループ内事業拠点に対し、調達サービスを提供する調達拠点

2013年度の主な取り組み

グローバル調達の拡大と開発購買の推進

富士電機は、グローバルで最適な調達体制の構築を目指し、中国・米国に続き、アジアや欧州へのIPO機能の設置に向け取り組んでいます。

2013年度は、新製品の開発・設計段階から調達部門が関与する開発購買体制を整えました。さらに新規優良取引先の開拓を図り、特に生産の拡大を進めるタイにおける現地調達化を推進しました。また地域に適した仕様の部材調達を拡大し、原価低減を図りました。

今後は開発購買によるコストダウンへの貢献を果たすとともに、各IPO機能をさらに強化し、グローバルに最適な調達を実践するよう進めていきます。



富士電機マニュファクチャリング(タイランド)社 調達部門のメンバー

CSR調達の推進

富士電機は、取引先様とともに「CSR(企業の社会的責任)」を果たすことにより、「社会的存在価値の高い企業」を目指すことが重要であると考えています。そのため調達部門では、サプライチェーン全体におけるコンプライアンス違反や人権侵害(強制労働や児童労働など)を未然に防ぐための取り組みを推進しています。

また地球環境保護の観点に立ち、環境保全活動に積極的に取り組んでいる取引先様から環境負荷の小さい資材を調達するグリーン調達を積極的に進めています。

2013年度は、社内においては調達関連法令のコンプライアンス対応を強化し、国内では、調達部門に加え、営業・

サービス・技術・設計部門を対象とした社内研修を実施(計41回1,372名が参加)しました。海外では、国ごとに異なる法令に準拠した規程・基準の整備を進めました。

取引先様向けには、毎年各事業所で実施している調達方針説明会や調達勉強会などにより、CSRに関する理解促進を図りました。

今後は、社内および取引先様を対象としたグローバルでの説明会や研修などを通じ、CSRの周知徹底を図っていきます。また取引額の大きい取引先様に対する「CSRアンケート調査」については、対象範囲を拡大していきます。

調達リスクの低減

事業継続計画(BCP)の一環として、①サプライヤー被災情報収集体制の構築、②重要部品のマルチサプライヤー化、③調達業務代替拠点の確立の3点を、調達BCPとして策定しています。

2013年度は、大規模災害などが発生した際、早急に調達部材の納入状況を把握できるよう、調達部門間におけるサプライヤー被災情報収集体制を構築しました。また、重要部品については、複数供給元から調達するマルチサプライヤー化を目指しています。その際、災害リスクだけでなく、為替リスクも考慮し、調達先のうち1社は海外とするよう取り組みを進めています。さらに重要部品の調達先の協力を得るため、各調達先の事業継続計画策定状況を確認するアンケート調査と評価を実施しました。

今後は、災害発生時に調達業務を代替する拠点確立を推進するとともに、調達先を含むグループ横断的に在庫融通を図る取り組みなど、調達BCPを強化していきます。

※ BCPの取り組みについては、P.47「リスクマネジメント」を参照

紛争鉱物への対応

富士電機は、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)の考え方に準拠し、調達先を通じた人権侵害行為への加担を行わないことを方針として定めています。この方針のもと、コンゴ民主共和国およびその周辺国における紛争地域から産出される鉱物のうち、スズ、タンタル、タングステン、金とその派生物について、武装勢力の資金源および人身売買、強制労働、児童労働、虐待、戦争犯罪などに関わるものの使用を禁止するよう推進しています。

2013年度は、JEITA(2014年2月加盟)の「責任ある鉱物調達検討会」の方針を踏まえ、国内12拠点で調達部門のほか、営業・サービス・技術・設計部門を対象とした人権侵害・紛争鉱物に関する研修を実施(計12回328名が参加)しました。

今後も取引先様とともに、紛争鉱物への適正な対応により社会的責任を果たすよう働きかけていきます。

Voice

取引先様の声



(株)電機精工社 営業部
執行役員 篠原 毅 様
営業部 営業2課 吉田 晃子 様

取引先様向けCSR研修に参加して

私たちは、変圧器およびリアクトルを中心に電源装置の周辺機器などを供給する製造メーカーです。

環境規制をはじめとしたCSRに対する取り組みが重要視されるなか、当社でのCSR活動強化の一環として、富士電機の神戸工場でも年2回実施される勉強会に参加しています。

この勉強会は、富士電機の経営計画や調達方針の説明のほか、コンプライアンスやCSR、BCPなど、社会からの要請に基づく事項をテーマとしています。紛争鉱物に関する勉強会では、「紛争地域に由来する鉱物を使用することにより、間接的にそこで行われている人権侵害に加担することにつながる」ことが理解でき、弊社がこれから取り組むべき課題を抽出・整理する良い機会となりました。

今後も、社会から信頼され、ステークホルダーの皆様とともに発展することを目指し、優れた商品とサービスを提供していきます。さらに「企業の社会的責任」として、法令の遵守、地域環境の保全、社会貢献などに取り組んでいきます。